

1. 科目名 ( 単位数 )	教育学概論 ( 初等・小 ) ( 2 単位 )	3. 科目番号	EDTE1101
2. 授業担当教員	曾根原 和明		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」に位置づけられる必修科目であり、教育職員免許状取得を目指す学生にとっては必修である。ただし、教育職員免許状を取得しない場合は、選択科目となる。教育の基本概念・理念・歴史的展開を学ぶ導入科目であるため、原則として初年次に履修することが望ましい。以後の教職課程関連科目および教育実習等の基礎となる科目である。		
7. 講義概要	本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に教職に携わるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。		
8. 学習目標	本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。 1. 教育学に関する基礎的・基本的内容を確実に習得すること。 2. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 3. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 4. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	本科目では、講義で学んだ教育の基本概念・理念・歴史的展開を、自身の体験や将来の教育実践と結び付けながら理解を深めることを目的として、毎回の事前学習および事後課題を課す。知識の習得にとどまらず、理論と実践を往還しながら自らの教育観を形成することを重視する。 ( 1 ) 事前学習 各回のテーマに関連する「体験の振り返り」を行う。これまで自身が受けてきた教育体験や身近な教育場面を振り返り、提示された課題について自分の考えを整理した上で授業に臨む。 ( 2 ) 事後課題 ① テキスト各講の「復習問題にチャレンジ」 該当問題を解き、重要概念を整理する。 ② 学習目標に照らした自己評価 その日の学習内容について自己点検を行う。 ③ 小レポート ( 800 字以内 ) 各回のテーマについて、概念や理論を説明した上で、将来の教育実践にどのように生かすことができるかを論述する。  事前学習および事後課題の提出は、いずれも次回授業日の前々日までとする。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 島田和幸・高宮正貴編『教育原理』ミネルヴァ書房、2018年。 【参考書】 今井康夫『教育思想史』有斐閣アルマ、2009年。 牛渡敦著『教育学原論』中央法規出版、2008年。 江原武一・山崎高哉著『基礎教育学』放送大学教育振興会、2010年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解しているか。 ( 知識・理解 ) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。 ( 関心・意欲・態度 ) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。( 判断力・表現力 ) 以上の観点をふまえ、下記の1-3によって評価する。 ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 ( ディスカッションやグループワークへの積極的参加度 ) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 ( 小テスト・中間レポート等 ) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、教育の基礎理論を学ぶだけでなく、自分の考えを言葉にし、他者と対話しながら思考を深める力を身につけることを重視します。これは、本学が掲げる「理論的・科学的思考力と実践的能力を統合」するための土台づくりにもつながる学びです。特に、次の姿勢を大切にしてください。 第一に、ICTを活用した協働的な学習への積極的な参加です。授業では、意見共有や協働作成などを通して、受講生同士で学びを深めます。対話を通して考えを発展させることは、本学が大切にしている「双方向対話型の教育方法」や「他者との対話を通して思考を発展させる」学びそのものです。こうした参加の姿勢は、成績評価にも反映されます。 第二に、自ら問いを立て、考え抜く姿勢です。教育に「正解」は一つではありません。事前・事後学習やレポート課題を通して、自分なりの考えを丁寧にまとめてください。これは将来、教育現場で「自ら課題を発見し、解決する力」を身につける基礎となります。 第三に、他者の意見を尊重し、誠実に議論する態度です。教育を学ぶことは、多様な価値観と向き合うこ		

	とでもあります。本学が重視する「他者への思いやり」や「社会的責任感」にもつながる姿勢です。互いの立場を尊重しながら学ぶ姿勢を大切にしてください。	
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。	
14. 授業展開及び授業内容		
講義日程	授業内容	学習課題
第1回	I 教育の本質を問う テキスト「第1講 オリエンテーション 子どもの発達と教育の目的」  近代以前と近代以降で教育の目的がどのように変わってきたのかを学ぶ。特に、近代では発達を助けることが重視されるようになった点を理解し、テュルゲームの「方法的社会化」という考え方を通して、教育と社会との関係を考える。	事前学習 体験の振り返り これまで自身が受けてきた学校教育を振り返り、「自分の力や個性を伸ばしてもらった」と感じた体験と、「社会のルールや決まりを身に付けることが重視されていた」と感じた体験をそれぞれ挙げてみましょう。そして、その違いは何だったのかを考えてみてください。
		事後学習 ①第1講の「復習問題にチャレンジ」(p.16) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート 近代以降の教育では、子どものよさや可能性を伸ばすことと、社会の一員として必要な力を身につけさせることの両方が大切にされてきました。この二つを両立させるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。将来の教育現場でどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第2回	テキスト「第2講 教育とは何か」  人間とはどのような存在かを考えながら、教育の意味を探る。教育を「形成」や「教化」と比べることで、教育という営みの特徴を理解する。	事前学習 体験の振り返り 人間と動物の違いは何かを、自分なりに考えてみましょう。また、「教育」と「しつけ」は同じが違うかを考えてください。
		事後学習 ①第2講の「復習問題にチャレンジ」(p.27) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート 教育と形成、教化の違いを説明し、それぞれの考え方を将来の教育現場でどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第3回	II 教師の仕事を理解する テキスト「第8講 『教える』という仕事① 教育課程と授業の計画」  教育課程やカリキュラムの基本を学び、学習指導要領がどのような役割をもっているのかを理解する。教師の仕事が計画づくりから始まることを知る。	事前学習 体験の振り返り 自分の学校の時間割や年間行事を思い出し、「なぜこの順番で学んでいたのか」を考えてみましょう。
		事後学習 ①第8講の「復習問題にチャレンジ」(p.102) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート 学習指導要領の役割を説明してください。その上で、学習指導要領を将来の教育現場でどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第4回	テキスト「第9講 『教える』という仕事② 教育課程と授業の実践」  授業とは何かを考え、計画・実践・振り返りの流れを学ぶ。よりよい授業づくりの基本的な考え方を理解する。	事前学習 体験の振り返り これまで受けた授業の中で「分かりやすかった授業」と「分かりにくかった授業」を一つずつ思い出し、その理由を書いてみましょう。
		事後学習 ①第9講の「復習問題にチャレンジ」(p.115) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート よい授業とはどのような授業かを説明してください。その上で、あなたが将来教師になったとき、どのような工夫をして授業をつくりたいかを書いてください。(800字以内)
第5回	テキスト「第10講 『教える』という仕事③ 教育評価」  教育評価の目的や方法を整理し、評価が授業改善につながることを理解する。	事前学習 体験の振り返り テストや通知表をもらったときの気持ちを思い出し、嬉しかった体験と嫌だった体験を書いてみましょう。
		事後学習 ①第10講の「復習問題にチャレンジ」(p.128) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート 教育評価の目的を説明してください。その上で、子どもの成長を支えるために、どのような評価の工夫を行いたいかを書いてください。(800字以内)
第6回	テキスト「第11講 『教える』という仕事④ 学校・学級の経営」  学校や学級をどのように経営していくのかを学び、「教える」「学ぶ」を支える仕組みについて考える。	事前学習 体験の振り返り 自分のクラスの雰囲気や思い出、落ち着いていた理由や「まとまりがあった理由」を考えてみましょう。
		事後学習 ①第11講の「復習問題にチャレンジ」(p.141) ②振り返り課題 ・学習目標に照らした自己評価 ・小レポート

			学級経営が「教える」「学ぶ」を支えるとはどういうことかを説明してください。その上で、安心して学べる学級をつくるために、どのような取り組みを行いたいかを書いてください。(800字以内)
第7回	III 現代の教育課題を考える テキスト「第15講 現代日本の教育問題」  いじめ・不登校・子どもの貧困・国際化・情報化など、今の学校が直面している課題を整理し、これからの教育の方向性を考える。	事前学習	体験の振り返り ニュースやSNSで見た教育に関する話題を一つ選び、「なぜ問題になっているのか」を自分なりに考えてみましょう。
		事後学習	①第15講の「復習問題にチャレンジ」(p.190) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 小レポート 現代の教育課題の中から一つを取り上げ、その背景や問題点を説明してください。そのうえで、学校現場でどのように向き合い、どのような取り組みを行いたいかを書いてください。(800字以内)
第8回	IV 教師の専門性を考える テキスト「第12講 学び続ける教師となるために」  教師は教えるだけでなく学び続ける専門職であることを理解し、教師に求められる資質や姿勢について考える。	事前学習	体験の振り返り これまで出会った先生の中で、「学び続けている姿が印象に残っている先生」を思い出し、そのように感じた理由を書いてみましょう。
		事後学習	①第12講の「復習問題にチャレンジ」(p.153) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 ●小レポート 「学び続ける教師」とはどのような教師かを説明し、将来どのように学び続けたいかを書いてください(800字以内)
第9回	V 教育史から現在を問い、未来を構想する テキスト「第3講 教育の歴史①学校の歴史」  学校がどのように生まれ、近代公教育制度がどのように広がったのかを学ぶ。	事前学習	体験の振り返り 「なぜ子どもは学校に通うのか」を自分の言葉で説明してみましょう。
		事後学習	①第3講の「復習問題にチャレンジ」(p.38) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 ●小レポート 公教育の理念を説明し、それを今日の学校づくりや授業にどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第10回	テキスト「第4講 教育の歴史②海外の教育史(古代ギリシアの教育思想)」  古代ギリシアの教育思想を学び、西洋教育思想の出発点を理解する。	事前学習	体験の振り返り 「教養がある人」とはどのような人が、自分なりに考えてみましょう。
		事後学習	①第4講の「復習問題にチャレンジ」(p.51) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 ●小レポート 古代ギリシアの教育思想の特徴を説明し、それを現代の授業づくりにどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第11回	テキスト「第5講 教育の歴史③海外の教育史(近代の教育思想)」  コメニウス、ロック、ルソー、カントの思想を学び、近代の教育観がどのように形づくられたのかを理解する。	事前学習	体験の振り返り 「子ども中心の授業」と聞いて、どのような授業を思い浮かべるか書いてみましょう。
		事後学習	①第5講の「復習問題にチャレンジ」(p.62) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 ●小レポート 近代の教育思想の特徴を説明し、それを現代の授業や学校づくりにどのように生かせるかを書いてください。(800字以内)
第12回	テキスト「第6講 教育の歴史④海外の教育史(近代教育学の成立～新教育運動)」  近代教育学の成立と新教育運動を学び、今の学校制度や授業の形がどのように生まれたのかを考える。	事前学習	体験の振り返り 今の学校で「当たり前」だと思っていることを三つ書いてみましょう。
		事後学習	①第6講の「復習問題にチャレンジ」(p.76) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価 ●小レポート 現在の学校で「当たり前」とされている仕組みや慣習を一つ取り上げ、その背景を説明してください。そのうえで、今後どのように見直し、実践に生かしていきたいかを書いてください。(800字以内)
第13回	テキスト「第7講 教育の歴史⑤日本の教育史」  近世から戦後までの日本の教育の歩みを学び、現在の学校制度の背景を理解する。	事前学習	体験の振り返り 制服や学校行事など、日本の学校の特徴を一つ挙げ、その意味を考えてみましょう。
		事後学習	①第7講の「復習問題にチャレンジ」(p.88) ②振り返り課題 ●学習目標に照らした自己評価

			<ul style="list-style-type: none"> <li>小レポート 日本の教育史の流れを説明し、そこから学んだことをこれからの教育実践にどのように生かしたいかを書いてください。(800字以内)</li> </ul>
第14回	VI 学校を越えた教育と総括 テキスト「第13講 社会教育と生涯学習」  社会教育と生涯学習の考え方を学び、学校教育とのつながりを理解する。	事前学習	体験の振り返り 学校以外で学んだ体験(習い事、地域活動など)を一つ思い出して書いてみましょう。
		事後学習	①第13講の「復習問題にチャレンジ」(p.166) ②振り返り課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>小レポート 学校教育と社会教育のそれぞれの役割を説明し、両者がどのように連携できるかを書いてください。(800字以内)</li> </ul>
第15回	テキスト「第14講 地域社会と学校」  地域と学校の連携の仕組みを学び、これまでの学修を振り返りながら自分の教育観を整理する。	事前学習	体験の振り返り 自分の出身地域と学校のことを思い出し、どのようなつながりがあったか書いてみましょう。
		事後学習	①第14講の「復習問題にチャレンジ」(p.178) ②振り返り課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>小レポート 地域と学校の連携の仕組みを説明し、地域とともにある学校をどのように実現していきたいかを書いてください。(800字以内)</li> </ul>
期末試験			